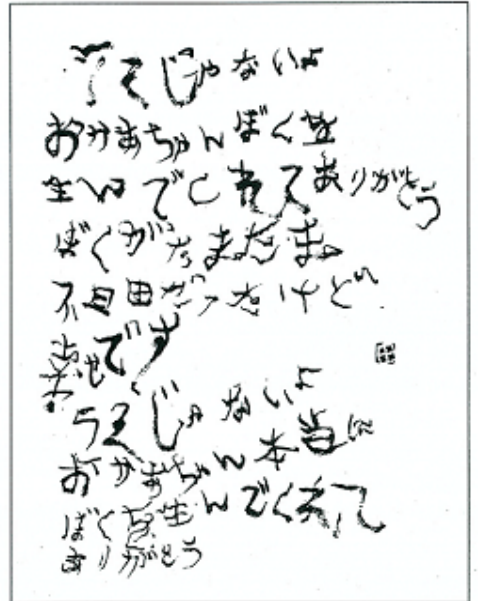


小さな声

NO1

田島隆宏



平成9年7月1日 第1号です

うそじゃないよ
おかあちゃん ぼくを
生んでくれて ありがとう
ぼくが たまたま
不自由だったけど
幸せです
うそじゃないよ
おかあちゃん 本当に
ぼくを 生んでくれて
ありがとう



創作活動の記録

- 昭和53年 写真に興味を持ち、押川航武氏の指導のもとで始める。
- 59年 深谷市美術館において、教育長賞
- 62年 同賞(埼玉県民ギャラリー熊谷)
- 同年、小学館発行「タッチ」誌上「ヒーマン写真」大賞年間2位
- 63年 障害者による全国写真コンテスト 銅賞
- 平成2年 NHK主催「国際障害者年」一心中で写真写真展「にんま」
- 4000点余りの中から、40点の中に入る。
- 2年 週刊誌「女性セブン」にBページにわたり特集で掲載される。
- TBSテレビ「モーニングEYE」で、「車椅子のカメラマン」として15分間全国放映される。
- 5年 フジテレビ「おはようナイスデイ」で全国放映される。
- 5年 埼玉県民ギャラリーで開催
- 6年 八木橋百貨店で写真展(写真・書・絵画・詩) 有料入場者3000人
- 6年 はじめての詩集「小さな声」出版
- (その他) NHK・FMで放送される。県展、県北展、その他の展覧・コンテストに入選・入賞

平成9年7月1日

つよっさんのお楽しみ日記93

「笑う門には福来る」の巻

平成九年一月二日、恒例の松商六一会の新年会が開かれました。賑やかに交流しているところへ東京で会社経営をしている岩崎照夫君が「つよっさんスゴイ勉強会があるヨ」一度ウチの会社へ来てみないと誘ってくれました。

早速、友人と三人で会社を訪ねました。まず、教育の行き届いた社員の皆さんの出迎えに圧倒されました。応接室に入ると飲み物のメニューがあり、コーヒー、ジュース、紅茶等の中から選ぶようになっていてオーダーすると間もなく飲み物が運ばれてきました。コースターには心からの歓迎文と私の名前が印字されています。一番驚いたのは「見積書」です。お客様を思う心憎いまでの仕掛けが施されていてお客様に提出する時は箱に入れて風呂敷に包んで持っていくそうです。

「イーちゃんスゴイこれ何んと言う勉強会？」と訊くと矢部廣重先生の「社長のためのセールス革命」一言で言えば「お客様に喜びと感動を贈る」勉強会よ教えてくれました。「なんぼかかると訊くと、月一回、十ヶ月で八十万円とのこと、八十万円は…少々思いつきは悪かったです。松山に帰り友人に呼びかけてみると意外にも十四名が集まり二月から本町会館で勉強会がスタートしました。六月の宿題は「お客様に感動を贈る」でした。宿題を忘れた私はその場しのぎに毎月お客様に手紙を書きますと…。

矢部先生からの「指導は

- 一 今日からいろいろな本や新聞を読んで感動したものをジャンル毎にファイルしておきましょう
 - 一 毎月一日、必ず届くようにしましょう
 - 一 お客様のお名前を印字しましょう、奥様の名前を入れると効果は倍増します
 - 一 やると言った以上、二十年間続けましょう
- 等々のアドバイスを頂きました。以後およそ二十四年間続けてきた「笑う門にも福来る」も来月号から光田社長にバトンタッチします。
- 長い間本当にありがとうございました。



中村剛志